

甲府市議会だより

新しい議会構成決まる！

議長に清水 保氏 副議長に池谷 陸雄氏 当選

5月臨時会・6月定例会

第170号 平成23年8月1日

編集・発行 甲府市議会だより編集委員会

電話 055(235)7054 FAX 055(227)5126

Email: gikai@city.kofu.yamanashi.jp

甲府市議会



市長・副市長・市議会議員集合写真（6月定例会開会日終了後：平成23年6月6日撮影）

主な内容・ページ

- ・就任あいさつ／5月臨時会 2
- ・議会関係各室案内／5月臨時会審議結果 3
- ・6月定例会質問要旨／日程 4
- ・6月定例会市政質問 5～9
- ・審議結果／請願審査結果／意見書 10
- ・人事案件／議員表彰 11
- ・常任委員会の構成 12

市議会インターネット情報

モバイル



※本会議場は、甲府商工会議所
5階です。相生2-2-17

就任あいさつ



甲府市議会議長 清水 保



甲府市議会副議長 池谷 陸雄

私ども兩名は、平成二十三年五月臨時会において、第九十二代議長に、また、第百三代副議長に選任されました。

名譽ある甲府市議会の代表として、光榮に存じますとともに、職責を全うすることをお誓い申し上げます。

「わが」の都・こうふプロジェクト二〇一〜二〇一四」は、地方自治体を取り巻く環境の大きな変化に対応した市民福祉の向上と、先人から受け継いだ甲府市を、未来への新たな種を蒔きながら、次の世代に自信と誇りを持って引き継ぐという大きな二つの観点から、第五次甲府市総合計画との調整を図る中で、重点的に取り組んでいく施策をとりまとめたものであり、現在、市民の皆さんとの対話と協働を心がけながら、諸施策が展開されております。

このような中、甲府市議会が果たすべき役割は、ますます重要となっており、今後さらなる議会機能の強化と活性化に努めてまいり所存であります。

本市議会のさらなる発展に努め、市民の皆様にも、より身近に感じられ、より信頼される議会を目指してまいりますので、今後より一層のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

五月臨時会

市議会改選後の初議会である臨時会は、五月二十日に招集され、会期を一日と定め、正副議長など新議会の構成と市長から提出された補正予算、条例の一部改正等について審議しました。提出された議案については、いずれも当局原案のとおり可決・承認・同意し、五月臨時会を閉会しました。

議会運営委員会委員は、指名推選により次のとおり選任されました。

委員長 森沢 幸夫 副委員長 清水 仁

齊藤 憲二 佐藤 茂樹 廣瀬 集一 鈴木 篤 桜井 正富

兵道 顕司 中村 明彦 石原 剛 飯島 正樹 神山 玄太

議会選出の監査委員の任期満了に伴い、選任議案が提出され、採決の結果同意されました。



議会選出監査委員 野中 一二一

また、広域議会議員選挙も行われ、指名推選により次のとおり当選しました。甲府地区広域行政事務組合議会議員

佐藤 茂樹 原田 洋二 大塚 義久 廣瀬 集一 鈴木 篤

桜井 正富 興石 修 植田 年美 長沢 達也 内藤 司朗

山田 厚 山田 弘之

甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員

齊藤 憲二 森沢 幸夫 荻原 隆宏 鈴木 篤 野中 一二一

清水 仁 兵道 顕司 石原 剛

東八代広域行政事務組合議会議員

池谷 陸雄 興石 修

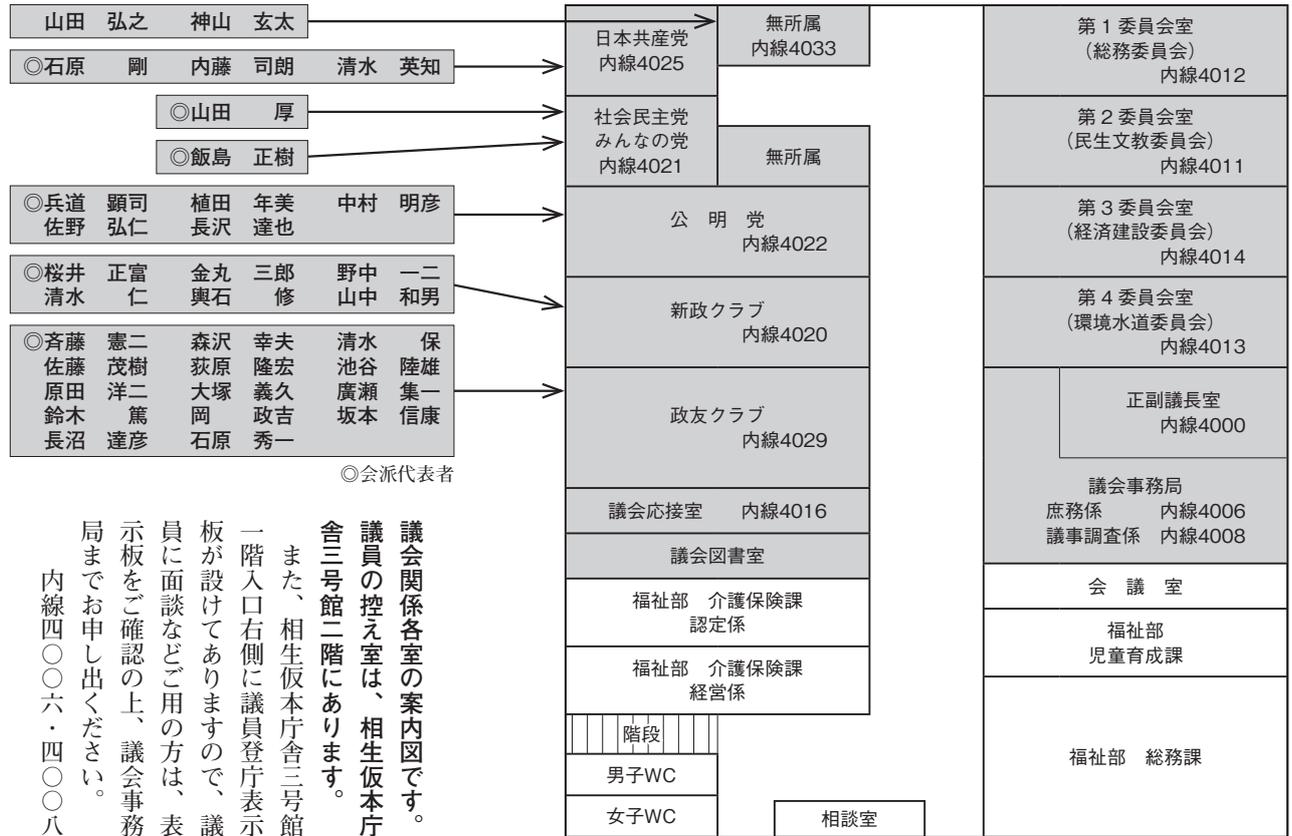
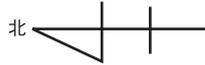
山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員

齊藤 憲二

議会関係各室案内

TEL 235 - 7054

《相生仮本庁舎 3号館 2階》



◎会派代表者

議会関係各室の案内図です。議員の控え室は、相生仮本庁舎三号館二階にあります。また、相生仮本庁舎三号館一階入口右側に議員登庁表示板が設けてありますので、議員に面談などご用の方は、表示板をご確認の上、議会事務局までお申し出ください。

内線 四〇〇六・四〇〇八

平成23年5月臨時会 審議結果

議案番号	件名	付託委員会	議決月日	結果
議案第36号	専決処分について (平成22年度甲府市一般会計補正予算 (第7号))	総務	5月20日	承認 (全会一致) (※1)
議案第37号	専決処分について (平成22年度甲府市老人保健事業特別会計補正予算 (第2号))	民生文教	〃	〃
議案第38号	専決処分について (甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について)	〃	〃	〃
議案第39号	専決処分について (甲府市市税条例の一部を改正する条例制定について)	総務	〃	〃
議案第40号	専決処分について (平成23年度甲府市一般会計補正予算 (第1号))	〃	〃	〃
議案第41号	平成23年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)	民生文教	〃	原案可決 (全会一致)
議案第42号	甲府市市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	経済建設	〃	〃
議案第43号	工事請負契約の締結について (新庁舎建設)	総務	〃	原案可決 (賛成多数) (※2)
議案第44号	工事請負契約の締結について (甲府商業高校屋内運動場)	民生文教	〃	原案可決 (全会一致)
議案第45号	監査委員の選任について	委員会付託 省略	〃	同意
甲議第1号	議会運営委員会委員の選任について		〃	選任
甲議第2号	常任委員会委員の選任について		〃	〃
甲議第3号	甲府市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定について	委員会付託 省略	〃	原案可決 (全会一致)
甲選第1号	議長選挙について		〃	第92代議長当選
甲選第2号	副議長選挙について		〃	第103代副議長当選
甲選第3号	甲府地区広域行政事務組合議会議員の選挙について		〃	当選
甲選第4号	甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員の選挙について		〃	〃
甲選第5号	東八代広域行政事務組合議会議員の選挙について		〃	〃
甲選第6号	山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について		〃	〃

(※1) 出席議員が全員一致で賛成すること。

(※2) 起立採決により、賛成者数が、議事の成立要件 (一般的な議案の場合は出席議員の過半数) を満たすこと。

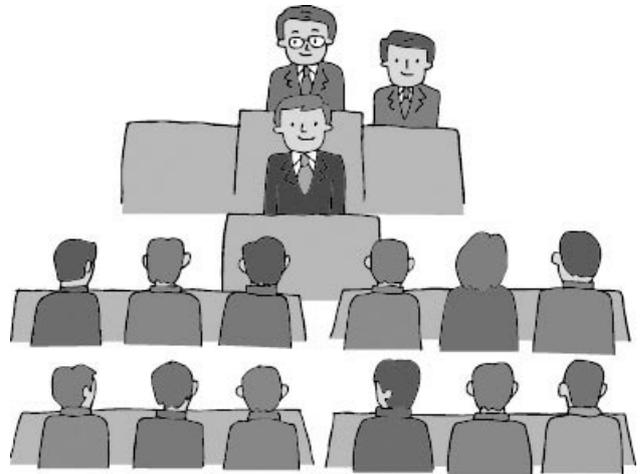
平成23年6月定例会質問要旨

氏名	発言の種類 (方式)	質問項目
神山玄太	一般質問 (一括)	・災害復興計画について ・甲府市の将来に対する市長の政治姿勢について ・中心市街地のにぎわい創出について
植田年美	一般質問 (一括)	・放課後児童クラブの年齢拡充について ・夏休み中の小学生の安心安全居場所づくりについて ・今夏の節電対策について
山中和男	一般質問 (一括)	・市役所職員の給料について
長沼達彦	一般質問 (一括)	・人口減に対する抜本的な政策について ・行政改革(国家公務員に準じた職員給与の削減)について
岡政吉	一般質問 (二問一答)	・新庁舎等公共施設のユニバーサルデザインの普及について ・自然環境を守り、新たなエネルギー政策の取り組みについて ・芸術文化を通じた街づくりについて
廣瀬集一	一般質問 (二問一答)	・山城小学校、城南中学校の生徒数の増加に伴う教室等施設の対応について ・結婚相談所の開設について ・投票率の向上について
清水英知	代表質問 (一括)	・防災体制の強化について ・東日本大震災によって打撃を受けた自営業者への支援について ・脱原発省電力化の推進について
兵道顕司	代表質問 (一括)	・甲府市自治基本条例の推進について ・甲府市地域防災計画について ・特別支援教育総合推進事業について
桜井正富	代表質問 (一括)	・「関東B-1グランプリ」の開催について ・甲府市医療福祉社会館の整備について
佐藤茂樹	代表質問 (一括)	・隠れ負債(橋梁・上下水道の老朽化・耐震化)対策への取り組みについて ・学校等への暑さ対策について ・不妊治療への助成について

一問一答：質問項目ごとに質疑応答を行う。一括：質問項目すべてを質問し、一括で答弁を行う。

6月定例会日程

- 6月 6日(月) 開会、提案理由の説明
- 7日(火) } 議案調査のため休会
- 8日(水) }
- 9日(木) 議事都合により休会
- 10日(金) 本会議、質疑及び市政一般質問
- 11日(土) } 休会
- 12日(日) }
- 13日(月) 本会議、質疑及び市政一般質問
- 14日(火) 本会議、質疑及び市政一般質問、
常任委員会付託
- 15日(水) 常任委員会
- 16日(木) 議事都合により休会
- 17日(金) 本会議、常任委員長報告、閉会



市議会議員の寄附は禁止！ 有権者の寄附要求も禁止！

公職選挙法では、次のようなことが禁止されています。

- 議員や後援会が、寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと。
- 議員や後援会が、お中元やお歳暮を贈ること。
- 議員が年賀状や暑中見舞いなどのあいさつ状を出すこと。(自筆の答礼は除く。)
- 市民や団体が、議員に寄附などを求めること。

市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

市政質問

(要旨掲載)

学校等への暑さ対策について

政友クラブ

佐藤 茂樹



質問 地球温暖化の影響は、ここ数年「真夏日」という言葉が、暑さで進化した猛暑日や酷暑とも言われるようになり、子どもたちを取り巻く学習環境は、まさに熱中症との闘いの様相を呈しています。

本市、公立小中学校への空調設備の設置計画は、平成二十四年度からであります。今年度は、どう対応するのか考えをお聞きます。また、本年四月に開校いたしました

た善誘館小学校では、開校記念事業として、緑のカーテンを設置したと報告を受けておりますが、夏の対応策としての緑のカーテン事業についても考えをお示しください。

答弁 子どもたちの安全で安心な教育環境を確保するため、来年度以降、全ての市立小中学校及び高等学校へ年次的に冷暖房設備を設置していきます。

設置にあたりましては、エネルギー消費効率の優れた機種を選定するとともに、その適正な運用のためガイドラインを策定していきます。

また、「緑のカーテン」につきましましては、これまでの教材としての取り組みに加え暑さ対策として、ゴーヤ・朝顔などの苗、プランター及びネットなどを市立小中学校に、今年度新たに提供することとし、全校で「緑のカーテン」に取り組むこととしています。

いずれにしても、この夏の暑さや電力不足という状況変化を踏まえ、学校の暑さ対策に取り組んでいきます。



「関東B・1グランプリ」の開催について

新政クラブ

桜井 正富



質問 平成二十四年に予定される「関東B・1グランプリ」及び、今年度取り組まれるプレ大会の会場についてお伺いします。

約十万人の集客を見込んでいるとのことですが、どのような場所、会場で開催するのでしょうか。また、その運営方法についてお示しください。

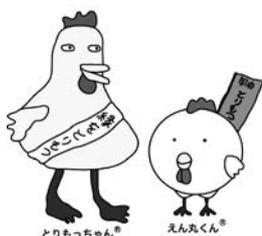
答弁 本年四月二十三日、姫路市で開催されました「B級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会」(通称愛Bリーグ)の理事会において、平成二十四年度の「関東B・1グランプリ」の開催地が本市に決定

されたところで。B・1グランプリは、単なる食のイベントではなくまちおこしイベントとして、産業の振興や地域の活性化に波及効果が大きいと考えています。

本年度は、リハールとまちなかの賑わいの創出を兼ねたプレ大会の開催とその検証を行い、平成二十四年度の「二〇一二関東B・1グランプリ」へと結び付けていきたいと考えています。

開催会場については、公共交通機関の結節点であるJR甲府駅周辺をメイン会場に考えており、来場者については二日間、十万人規模と想定していることから、会場の面積や来場者の安全、さらには交通対策等をも総合的に勘案し、サブ会場の設定が必要と考えています。

今後、関係機関と協議を進める中で、実行委員会等を立ち上げ、まちなかの賑わいの創出を考慮した詳細な計画を策定し、準備を進めていきます。



災害対策（被災者支援システム）について

公明党
兵道 顕司



よう、今から「被災者支援システム」を導入すべきと考えますが、当局の考えをお示しくください。

答弁 大規模災害の発生時には、被災状況等を的確に把握し、応急対策や復旧・復興業務を迅速に進めることが肝要であります。

質問 東日本大震災の被災地の皆さんが復興に向けて第一歩を踏み出している現在、一番の課題といわれているのが、罹災証明書の発行手続きです。

かつて阪神・淡路大震災で壊滅的な被害を受けた、兵庫県西宮市が災害発生時の住民基本台帳をベースに「被災者支援システム」を開発し、現在は、財団法人地方自治情報センターが管理し、希望する自治体に無償提供しています。

本市においても、いつ発生してもおかしくない東海地震に備え、万が一の際に行政サービスが停滞しない

現在、本市では、「防災情報システム」を導入しており、被災者情報や地域の被災状況、また、避難所で必要とされている災害ボランティアの要請や、物資の供給等の各種情報を災害対策本部で一元的に集約し、応急対策を行うための重要な情報源として活用するとともに、情報の一部をインターネットでタイムリーに発信することが可能です。

ご指摘の「被災者支援システム」の特徴としては、住民基本台帳などを活用した応急対策から、さらに、復旧・復興に必要な行政事務の処理までを迅速に行えるなど、幅広い機能を持ったシステムですので、今後、関係機関と協議をする中で導入に向けて、検討していきたいと考えています。



東日本大震災によって打撃を受けた自営業者への支援について

日本共産党
清水 英知



答弁 本市では、「特別経営安定資金」や「小規模企業者小口資金」など十種類の融資資金を用意し、金融支援を行っているところであります。

このうち、中小企業者の不況対策などに対応している「特別経営安定資金」は、限度額二千万円で償還期間が長く低利であるため、東日本大震災によって影響を受けた事業者が制度を受けやすいように融資基準を改正して、対応しているところであります。

質問 東日本大震災によって、県内の事業所も大きな打撃により、営業に深刻な影響を受けています。

笛吹市と富士河口湖町では、震災の影響で最近一ヶ月間の売り上げ等が前年同期に比べて二十%以上減少した事業者を対象に、事業資金貸付融資制度を独自にスタートさせました。

一千万円までを貸付け、保証料の二分の一を補助し、三年間は、利子の七十%を補助します。

甲府市でも同様の災害対策資金貸付制度の創設を求めますが、見解をお聞ぎします。

また、中小企業者の中でも、経営基盤の弱い小規模企業者を対象とした、限度額七百五十万円の「小規模企業者小口資金」については、無担保・無保証人で融資が受けられるとともに、利子補給や信用保証料の補助があるなど、東日本大震災の影響を受けた小規模企業者にも利用を促しているところであります。

今後においても、市ホームページや広報誌等を通じ、融資制度を周知するとともに、金融機関や信用保証協会と連携する中で、融資を必要とする中小企業者へ速やかな融資が実行されるよう努めていきます。

甲府市地域防災計画について

政友クラブ

廣瀬 集一



質問

甲府市地域防災計画においては、地震対策編第四章の東海地震に関する事前対策計画に「動物園に対する応急計画に関すること」と記されています。BCP（継続計画）地震編では、「猛獣等展示動物の安全確保」が記載されています。動物飼育の観点から、動物の飼料確保、携帯電話等での園内外の通信手段の断絶、停電による照明や冷暖房装置の電源確保、代替装置の備蓄や設置、安全対策の充実など様々な視点からの再検討が必要と思われるのですが、見解をお示しく下さい。

答弁

遊亀公園附属動物園においては、震度4以上の地震が発生した場合は、直ちに園内の見廻り、獣舎の点検等の安全確認を行うこととしており、「地震発生時対応マニュアル」に基づき、来園者の安全確保、動物の逃亡阻止と捕獲を図るとともに、拡声器等により園内や近隣に危険情報の周知を行い、必要に応じ警察や猟友会にも支援を依頼することとしています。

また、災害が起きた場合を想定し、入園者の安全な場所への避難誘導、麻酔銃・吹矢の取り扱いの確認、バリケードの設置等の実践訓練も定期的に実施しています。

災害緊急時における動物飼料の確保については、備蓄してあるペレットなどの非常用飼料を有効に利用するとともに、日本動物園水族館協会に支援飼料の確保を依頼するなど、万全を期することとしています。

また、冷暖房対策が不可欠となる動物には、非常用発電機二台や石油ストーブ等の使用により短期的な停電への対応を考えています。



山城小学校、城南中学校の生徒数の増加に伴う教室等施設の対応について

政友クラブ

岡 政吉



質問

山城地区は、平成十八年から人口増加が進み、特に山城小学校の児童数は、甲府市の小学校の中でも児童数及び増加数は一番であります。

現在、城南中学校の教育施設は、何回も教室を建て増し、使用している状況で、山城小学校の児童数の増加がそのまま城南中学校に移行しますので、今後さらに学校施設が不足する懸念がありますので、この対策について考えをお示しく下さい。

答弁

児童数の増加が著しい山城小学校については、これまで、必要

な教室確保対策として、プレハブ校舎を建設するとともに、屋内運動場の全面改築を行ったところであり、加えて、児童数の増加を考慮し、教頭職二名、養護教諭二名の配置をはじめ、県の加配教員二名、市の加配教員一名を配置する中で、きめ細かな教育指導の充実に努めてきました。

本年度は、児童数九百四名で、特別支援学級一つを含め三十一の普通教室と、理科室などの七つの特別教室を使用しています。

現有施設の最大限の活用を図り、子どもたちに必要な教育環境の確保に努めているところです。

現在、全市的な児童数の将来推計を専門機関に委託していますので、その将来推計と学級編成基準を踏まえ、山城小学校での必要な教室数を見出したいと考えています。

また、城南中学校の対応についても、南部地域の小学校の動向が大きく影響を与えるものと考えられますので、これと併せて検討を行い、次代を担う子どもたちが良好な教育環境のもとで教育を受けることができよう取り組んでいきます。

新庁舎等公共施設のユニバーサルデザイン の普及について

政友クラブ

長沼 達彦



質問 人が集い、環境にやさしく、安全・安心な新庁舎「すべての方へおもてなしを実現するユニバーサルデザイン庁舎」と、昨年の広報に載っていました新庁舎が、安全祈願祭も済みいよいよ着工となりました。

人がつどい、心がかよう、笑顔あふれるまち甲府にふさわしい庁舎が出来るかと確信しておりますが、従来の建物との違いをお示しく下さい。

答弁 新庁舎におけるユニバーサルデザインについては、総合案内の設置やフロアーマネージャの配置に

より、職員が心のこもった対応を行うなどのきめ細やかな人的支援と、誰もが安全・安心して利用できるような設備機器の充実を図ることなどにより実現することとしています。

中でも、特徴的な設備・機能としては、視覚障害者向け設備として、盲導犬用トイレの設置や庁舎出入り口だけでなく、庁舎内にトイレの場所や必要な情報を音声で案内する音声標識ガイドシステムなどを導入することとしています。

聴覚障害者向け設備としては、市民活動室・議場傍聴席に難聴者の「聞こえ」をサポートする磁気ループランテナや、待合・廊下にLEDによる非常文字表示器を利用した文字情報、また、緊急事態を知らせるための非常口のフラッシュライトやトイレ内に回転灯を利用した光の情報設備などを導入することとしています。

さらには、妊婦、高齢者などの方々のためのハートフル駐車場や低層階へ「オストメイト対応」の多機能トイレも設置していきます。

行政改革（国家公務員に準じた職員給与の削減）について

新政クラブ

山中 和男



質問 先日、国においては、国家公務員の給料を課長室長級が十%、課長補佐、係長級が八%、係員は五%、ポーンズや管理職手当は、役職に係なく十%削減するとの提案がありました。

甲府市も、国家公務員に準じた、職員給与の削減が出来るのかお示しく下さい。



答弁 国においては、現下の厳しい財政状況及び東日本大震災に対処する必要性に鑑み、一層の歳出削減が不可欠であることから、国家公務員の給与について平成二十六年三月三十一日まで時限的に減額支給する措置を講ずる法案が今国会に提出されたところです。

法案の骨子は、一般職の役職に応じ五%から十%の給料を減額するとともに、期末勤勉手当・管理職手当についても一律十%減額することなどです。

国は、地方公務員の給与については、「地方自治体と同様な措置を求めない」と労使交渉において回答していますが、現段階において地方交付税の取扱等、財政へ及ぼす影響も懸念されますので、本市の対応については、今後、国の動向等を注視する中で、適切な判断をしていく必要があるものと考えています。

なお、本市では現在、常勤の特別職等の給料や職員の管理職手当の減額を行っており、また、一般会計の職員の給与費について、過去五年間で約八億円を削減しています。

夏休み中の小学生の 安心安全居場所づくり について

公明党

植田 年美



質問

文部科学省が子どもの安心安全の居場所づくりとして実施した「放課後子ども教室」事業がありますが、本市の現状は、二十四小学校に対し七教室のみで、夏休みの安心安全な居場所が不足しています。

放課後子ども教室の増設を強く要望するとともに、今後の計画をお示しください。また、昨年「放課後子ども教室」を市内全域に設置を求めて提出された提言を受け、どのようにお考えかあわせてお答えください。

答弁

放課後子ども教室は、小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の協力を得てスポーツや文化活動などのさまざまな体験活動や、交流活動、学習活動等の取り組みを推進するものです。

本市の放課後子ども教室については、「甲府市次世代育成支援行動計画」に位置付け、平成二十六年度までに十教室を年次的に設置する計画となっております。

この事業の推進については、昨年度、社会教育委員の会議からいただいた提言を踏まえ、今年度は新たに一教室を増設することとし、同行動計画の平成二十三年度目標値（七教室）を上回る八教室を設置します。

また、夏休み期間中の児童の居場所づくりについては、現在、国において新たな次世代育成支援のため「子ども・子育て新システム」の検討が進められていますので、その動向をふまえ、今後、関係部局と協議を図る中で検討してまいります。



中心市街地のにぎわい 創出について

無所属

神山 玄太



質問

中心市街地は、甲府のまちな顔であり、市外から来た方をもてなす場所です。この甲府の中心市街地の価値をどうとらえているのか、市長の見解をお示しください。

また、中心部には新県立図書館や市役所新庁舎が完成し、新しい人の流れが生まれることが想定されます。中心市街地の価値を高め、にぎわいを取り戻すためには、新施設と既存の商業施設が有機的に結ばれる必要があると考えますが、その関連性、回遊性をどう確保するのか伺います。

答弁

甲府の中心市街地は、長い

歴史の中で、文化、伝統をはぐくんできた地域です。長い歴史をもって営んできたからこそ、長い人との交流経験があるはずで、これをもう一回掘り起こして、「売った買ったで切れてしまう関係」ではない、人と人とのつながりを持ちながらの営みを維持してもらいたい。それが中心市街地の価値の再発見につながっていくのではないかと思います。

その中で、甲府紅梅地区再開発ビル「ココリ」については、中心市街地における商店街の魅力向上や、居住環境整備に寄与する事業として、様々な点で効果があったと考えています。商業部門においては、集客に結びつかない状況となっておりますので、関係機関と情報の共有や意思疎通を深め、テナント誘致に向け指導してまいります。

一方、新たなにぎわいの創出については、各拠点施設間の情報の共有や既存商店街との連携、安全安心な歩行者空間の創造等に取り組み、歴史的・文化的資源等と中心市街地を結ぶ回遊誘導ルートを検討し、新たなにぎわい創出を目指してまいります。

平成23年6月定例会 審議結果

番 号	件 名 等	付託委員会	議決月日	結 果
議案第46号	平成23年度甲府市一般会計補正予算(第2号)	総務・民生文教	6月17日	原案可決 (全会一致)
議案第47号	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	総 務	”	”
議案第48号	甲府市市税条例の一部を改正する条例制定について	”	”	”
議案第49号	甲府市過疎対策のための固定資産税の免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	”	”	”
議案第50号	甲府市学校職員の勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例制定について	民 生 文 教	”	”
議案第51号	工事請負契約の締結について(朝日小学校屋内運動場)	”	”	”
議案第52号	工事請負契約の締結について(伊勢小学校屋内運動場)	”	”	”
議案第53号	工事請負契約の締結について(笛南中学校屋内運動場)	”	”	”
議案第54号	工事請負契約の締結について(北西中学校屋内運動場)	”	”	”
議案第55号	市道路線の認定について(上町小瀬5号線)	経 済 建 設	”	”
議案第56号	市道路線の認定について(増坪8号線)	”	”	”
議案第57号	固定資産評価員の選任について	総 務	”	同 意
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	”	”	諮問のとおり 決 定
甲議第4号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	”	”	原案否決
甲議第5号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書提出について	委員会付託省略	”	原案可決 (全会一致)
甲推第1号	農業委員会委員の推薦について	”	”	推 薦
甲選第7号	第一奥仙丈山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙について	”	”	当 選

請願審査結果

番 号	件 名	付託委員会	結 果	
請願	23-4号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願	民生文教	採 択
	23-2号	TPP(環太平洋連携協定)への交渉参加阻止に関する請願	総 務	継続審査
	23-3号	環太平洋連携協定(TPP)への参加を行わないよう求める意見書採択を求める請願	”	”
	23-5号	国に原子力政策の転換を求める請願	環境水道	”

意見書

関係機関へ提出(要旨掲載)



○三十人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書
我が国は、OECD加盟国に比べて、一学級当たりの児童生徒数や教員一人当たりの児童生徒数が多くなっており、一クラスの学級規模を引き下げる必要がある。

また、三位一体の改革により、義務教育費国庫負担制度の国負担割合が二分の一から三分の一に引き下げられ、自治体財政を圧迫している。未来への先行投資として、子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成を行い、雇用・就業の拡大につなげる必要がある。

以上のことから、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

- 一、少人数学級を推進すること。
- 一、義務教育費国庫負担割合を二分の一に還元すること。
- 一、国における教育予算を拡充すること。

農業委員を推薦

今期（平成二十三年七月三十一日から平成二十六年七月二十日まで）の農業委員会委員の選出にあたり、農業委員会等に関する法律第十二条の規定により、学識経験を有する者の中から選ぶ委員の推薦が行われました。

池谷 陸雄 大塚 義久
興石 修 兵道 顕司

人事案件

六月定例会に、固定資産評価員の選任について、議会の同意が求められ、異議なく同意されました。

税務部税務総室資産税課長

芦澤 文男

また、人権擁護委員のうち、六月三十日の任期満了に伴う後任として、議会の

意見が求められ、諮問のとおり決定されました。

上矢 玲子



全国・山梨県市議会議長会より 市議會議員二十年在職表彰

金丸 三郎



石原 剛



山梨県市議会議長会より 二年以上正副議長経験表彰

斉藤 憲二



桜井 正富

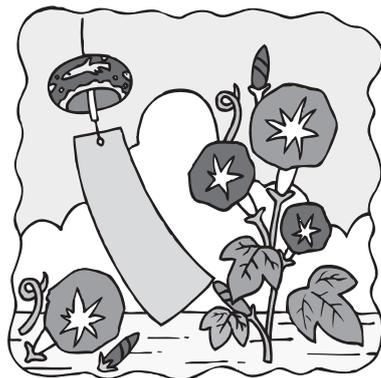


市議会だより編集委員会

六月定例会が終わり、私たち新しい編集委員により「市議会だより」を編集していきます。

委員長 清水 保
副委員長 池谷 陸雄
委員 廣瀬 集一

山中 和男
植田 年美
清水 英知
山田 厚
飯島 正樹



暑中お見舞い

申し上げます

甲府市議会

表彰おめでとうございます。

常任委員会の構成

民生文教委員会

福祉部・市立甲府病院・教育委員会、市民生活部のうち国民健康保険に関するものを調査します。



副委員長
内藤 司朗
日本共産党



委員長
荻原 隆宏
政友クラブ



委員
桜井 正富
新政クラブ



委員
坂本 信康
政友クラブ



委員
池谷 陸雄
政友クラブ



委員
神山 玄太
無所属



委員
植田 年美
公明党



委員
山中 和男
新政クラブ

総務委員会

市長室・総務部・企画部・市民生活部(国民健康保険を除く)・税務部・庁舎建設部・会計室・議会事務局・公平委員会・選挙管理委員会・監査委員に関するものを調査します。



副委員長
兵道 頌司
公明党



委員長
佐藤 茂樹
政友クラブ



委員
岡 政吉
政友クラブ



委員
清水 保
政友クラブ



委員
斉藤 憲二
政友クラブ



委員
石原 剛
日本共産党



委員
清水 仁
新政クラブ



委員
金丸 三郎
新政クラブ

環境水道委員会

環境部・上下水道局に関するものを調査します。



副委員長
大塚 義久
政友クラブ



委員長
興石 修
新政クラブ



委員
石原 秀一
政友クラブ



委員
鈴木 篤
政友クラブ



委員
森沢 幸夫
政友クラブ



委員
山田 厚
社会民主党



委員
長沢 達也
公明党



委員
中村 明彦
公明党

経済建設委員会

産業部・都市建設部・農業委員会に関するものを調査します。



副委員長
廣瀬 集一
政友クラブ



委員長
原田 洋二
政友クラブ



委員
佐野 弘仁
公明党



委員
野中 一二
新政クラブ



委員
長沼 達彦
政友クラブ



委員
山田 弘之
無所属



委員
飯島 正樹
みんなの党



委員
清水 英知
日本共産党

《次回の定例会は九月開催予定です》